

# 令和4年市町村広報コンクール審査票(町村部)

○広報紙の名称「広報しょうわ 12月号」

## 評価された点

### ■全体

・写真を多く使い、人物を丁寧に扱っている。学校の防災訓練の様子や中学生の活動の様子も生き生きとしていた。

・写真の使い方、配置、量など素晴らしい。また図やイラストも適度に配置され、非常に読みやすい。

### ■表紙

・キャベツを持った若い生産者の笑顔が良い。

### ■特集

・昭和村の農業について、歴史から、生産者、流通まで多角的な視点で人物を中心に解説していた点に非常に好感を持った。

・昭和村特産の野菜を中心に土地改良、生産者、販売と取り上げ、読みごたえがある内容となっている。

・表紙を含めると12ページにわたり圧巻。「やさい王国」の成立の歴史を振り返り、今を支えている人たちにもスポットを与え、読み応えがある。

・村の代名詞といえる高原野菜などの圧倒的生産量を生み出した広大な原野開拓の歴史や生産者、供給拠点「旬菜館」の売り場紹介記事などを多面的に展開していて、資料的価値さえ感じさせる力作となっている。

・広大な原野を掘り起こし、水を引いた先人たちの苦勞と努力が「やさい王国」の礎だとして深い感謝を述べている点も、素直に好感が持てた。

### ■その他

・避難訓練や昭和中生の活躍、ニューストピックスもしっかり取材し、紙面展開も秀逸。

# 令和4年市町村広報コンクール審査票(町村部)

○広報紙の名称「広報おうら 11月1日号」

## 評価された点

### ■全体

- ・「ツナガル」をテーマに構成し、子どもの写真の掲載を増やすというコンセプト通りのつくりになっていた。コンセプトがはっきりした紙面は、分かりやすく、見やすい。
- ・豊富なコンテンツをそろえ、町民に情報を伝えたいという意欲を感じる。担当者の遊び心もあり、楽しませてくれる。
- ・写真の使い方がうまく、ビジュアルな紙面を展開。子どもをはじめ、たくさんの町民が紙面に登場している。

### ■表紙

- ・運動会での子どものいきいきとした様子がとらえられた良い写真。

### ■特集

- ・村が「ツナガッテ」誕生したという歴史から、住民の様々な「ツナガル」に繋げていく構成が上手い。
- ・さまざまな角度からテーマにアプローチしている。
- ・「ツクル、ツナガル未来へ」という抽象的なテーマを、町成立の経緯から書き起こし、サッカー、ミニショップ、4人の2代目社長によるプロジェクト、特産野菜を使ったキーマカレー作りと、まったく異なる分野を串刺しにして編集した手際はお見事。
- ・各ページにテーマごとの中心人物を笑顔の写真とともに紹介、「実際、地方創生も結局は人なのだ」と町民にやる気、奮起を促す内容になっている。
- ・切り口が非常に素晴らしい。

### ■その他

- ・JOYのミズクラゲの話など、読ませる企画もちりばめられている。

# 令和4年市町村広報コンクール審査票(町村部)

○広報紙の名称「広報ちよだ 7月号」

## 評価された点

### ■全体

・中の紙面の色が緑で統一され、きれいで見やすい。またコンテンツが充実していて飽きさせない構成になっている。

### ■表紙

・防災についての家族会議の真剣な表情が良く捉えられている。

### ■特集

・「マイタイムライン」を実際に家族で作ってもらうという企画がおもしろい。企画を9ページに渡って展開していて、「マイタイムライン」がどういうものか分かりやすかった。

・防災から減災へというテーマで1つの家族にマイタイムライン（行動計画表）を作ってもらうという企画が分かりやすく、訴求力があると思った。

・風水害が増える時季をとらえ、災害への対応をまとめた。減災のポイントやマイタイムラインの作成方法、専門家の声などを具体的に示していて参考になる。

・町内で暮らす家族に避難計画（マイ・タイムライン）を実際の手順で作成してもらい、家族の顔写真つきで感想を紹介していて非常に分かりやすく、読みやすい。

・地元の消防署長、地方気象台長、新設の防災監に、水害における減災という捉え方の重要性や避難のタイミングなどをインタビューしているのも読みやすく、企画特集を分厚くしている。

### ■その他

・熱中人や友だちのわ、こんにちは赤ちゃんのコーナーは町民を身近なものに感じさせる。